

高性能な糸かがり機の導入で 大学向け卒業アルバム事業を拡大

事業内容 卒業アルバムの製作に 長い歴史と実績

大正7年に山口県下関市で印刷業として創業した。平成30年に創業100年を迎える。昭和28年に大阪市へ移り、卒業アルバムなど学校向けアルバムの製作を始めた。長い歴史と実績、高品質なもののづくりから、大学生協や学校からの信頼も厚い。

デジタルカメラやソーシャル・ネットワーキング・サービスの普及をはじめ、技術の進歩によって写真の閲覧手法は変わっていくが、ハードに依存しない紙媒体のアルバムは将来の技術が変わっても閲覧できる安心感がある。顧客のニーズに合った企画提案、写真レイアウトなどのデザイン力、経験豊富なDTPオペレーターによる編集や組み版、高品質な印刷と製本まで、アルバム製作を一貫して行う。

アルバム事業のほかに、印刷技術とデザイン力を生かしてスマートフォンケースの販売も始めた。鉄道ファン向けにJRなどの人気車両のデザインを詳細に再現。前田哲治社長は「人々の思い出に残るものや、好きなものに関する事業に取り組んでいる」と話す。

補助事業 製本工程に糸かがり機を 導入し生産性向上

将来、少子高齢化による学生数の減少は避けられない。大学アルバムは希望者のみが購入するため、多品種少量生産体制が求められるほか、受注と納入時期が重なり短納期対応も必要。アルバム製作は固定費が高く、販売数の減少は値上げにつながるものの、低価格の競合企業も増えている。これらの課題があり現状維持では成長が見込めないと、中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用して高性能な製本機を導入し生産性向上を図った。

製本は印刷した紙をアルバムに作り上げる最終段階で、製品の品質を左右する重要な工程。平成27年2月に、自動で糸で製本できる約3,000万円のイタリアのメカノテクニカ製の糸かがり機を導入した。

卒業アルバムの売り上げのうち大学向けは約30%を占め、北海道から沖縄まで全国の名門大学のアルバムを手がける。大学は人数が多いため分厚くなり、製本では接合部の高強度化が必要で、糸かがり機を活用して大学向けアルバムの拡大を狙う。プライダル向けアルバムなど新市場の開拓にも活用する。



導入した高性能な糸かがり機



大学の卒業アルバムの拡大を狙う



スマートフォンケースも手がける

具体的成果 高強度、多品種少量、 短納期に貢献

導入した高性能な糸かがり機によって、高強度、多品種少量対応、短納期など卒業アルバム製造に伴う課題の解決を図った。

製本スピードは旧設備の6倍と高速化し、納期が従来の7日から5日へと2日短縮できた。縫い間隔は19mmと、他社製の16.5mmに比べて広い。かがり針の直径も小さいので、紙に与えるダメージを軽減しつつ強く締められる。ページ接合部の強度は旧設備に比べて40%向上した。

糸に熱をかけないので糸本来の強度も維持できる。針は市販品も使用でき、備品のコスト削減につながる。給紙部分のシーケンス制御によって、給紙部分で不良を検出し修正できるため無駄を出さない仕組み。生産プログラムの保存数は無制限で、折り丁の保存数も230件と多いため、卒業アルバムの多品種・少量生産への対応が可能になった。

設備もコンパクトなため印刷面の擦れが少なく、アルバムの品質向上につながる。コンプレッサーの空気量を他社製の半分に抑えた省エネルギータイプで、電気代削減による利益向上も期待できる。かがり部分などの駆動部に透明カバーが取り付けられており、旧設備より作業安全性も向上した。

今後の戦略 大学向け卒業アルバムの 拡大や新分野の開拓に活用

高性能な糸かがり機の導入によって、のりでつける冊子ではできなかった厚みのある重いアルバムにも迅速に対応できるようになり、事業の幅が広がる。糸かがり機の主な活用対象は大学向けアルバムの受注拡大だが、卒業アルバムは少子化に伴い、将来の縮小傾向は避けられない。

そこで、事業拡大のために結婚市場など新分野の開拓にも糸かがり機を活用する。プライダルアルバムは写真の枚数が多く、紙も厚いため糸かがりによる製本が向いているという。平成28年4月に新事業推進課を発足し、新たな事業分野の開拓を進める。前田社長は「事業拡大や品質で勝負するために必要な設備が整った。糸かがり機を武器にしていく」と期待を込める。営業を担当する社員も増員した。

創業100周年に向けて「チェンジ&チャレンジ」というテーマを掲げ、仕入れ・生産・販売などを一気通貫する効率化や、新規分野の開拓による売り上げ構築を目指す。現在の売上高は約13億円。平成33年度までの5年間で、糸かがり機導入による効果で6億円の売り上げ増を狙う。そのほかの事業も含め、平成33年度に売上高20億円を目指す。

株式会社 ダイビ

代表取締役社長 前田 哲治
〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東2-10-15
TEL. 06-6692-6212
FAX. 06-6692-8232
資本金/21,500千円
従業員/110名

短納期 企画力 小ロットOK オフセット技術 量産OK 試作OK 連携力

大切な思い出がつまった卒業アルバムを 高い技術で高品質に作ります

代表取締役社長 前田 哲治

価格競争ではなくオンリーワンの技術で勝負したいと考えています。卒業アルバムは年数がたてばたほど価値は高まり、輝きを持ちます。そのために高品質な卒業アルバムを届けていきます。



<http://www.daibi.co.jp/>

取材を終えて

紙の良さと技術を生かした 新事業展開を

卒業アルバムは学生時代の大切な思い出がつまった、かげがえのないもの。何十年と美しく保存するために、高品質なアルバム作りを続けている。技術の進歩にともない、写真の閲覧手段は時代とともに変化していくだろう。しかし印刷された紙のアルバムならば、技術の流行に左右されずに、何年後でも手にとればすぐに眺められるメリットがある。デジタル化の時代だからこそ紙の良さを生かし、技術と実績を元にさまざまな事業展開が見込めそうだ。